

民法 親族・相続〔第4版〕

松川正毅

2014年12月刊／382頁／本体2200円＋税
四六判／並製



編集
担当者
から

本書はアルマシリーズ BASIC のいわゆる家族法の本です。判例・通説の考え方をベースにして、基本を説明しています。本書の特色をいくつか紹介しましょう。

(1)法典の構造がわかりやすいように、「Part1 親族法」も「Part2 相続法」も、それぞれ三部構成になっています。(2)小さな活字の◆がついた箇所は、上級への橋渡しです（「課題学習」）。一通り本文を読んでから、挑戦してみてください。(3)図も少し特徴的ですが、これは著者の先生の講義での板書が元になっています。(4)松川先生はフランスへよくいらっしゃいますので、フランスでのエピソードを紹介していただきました（Pause-café）。勿論、家族法に関するテーマを取り上げています。

他にも相続分の計算問題などもあり、わかりやすく学ぶための工夫を色々しています。本書も民法やその周辺の法改正や最近の重要判例を織り込んで新しくなりました。楽しみながら読んでいただける教科書です。（YF）

Index



民法第4編・第5編の全体構造が一発でわかります。

PART1 親族法

第1章 男と女（女と男）

婚約／婚姻／内縁／自由結合／性転換・同性婚／離婚

第2章 親と子（子と親）

実子／養子／生殖補助医療により生まれた子

第3章 家族構成員の保護

親権／未成年後見／後見・保佐・補助／扶養

PART2 相続法

第1章 法定相続——遺言のない場合の相続

相続の開始／相続人／相続財産／相続分／寄与分／相続分の譲渡／遺産共有／遺産分割／承認、限定承認、放棄／財産分離／相続人の不存在・特別縁故者に対する分与／相続回復請求権

第2章 遺言と相続——遺言のある場合の相続

遺言とは何か／遺言には方式が必要／遺言をする能力／遺言の効力／遺贈／遺言の執行

第3章 法定相続と遺言の調整——遺留分

遺留分の意義／遺留分の範囲／遺留分減殺請求権／遺留分の放棄